

【対策】1-1 流域治水対策(河川)

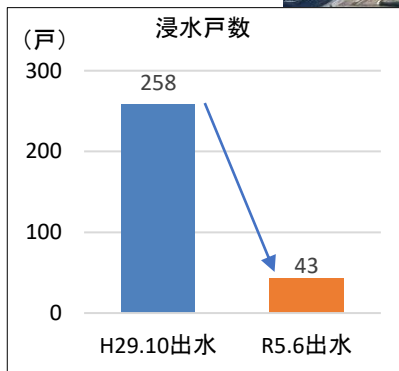
対策概要: 近年の頻発化・激甚化する水災害に対応するため、気候変動による影響を踏まえた、河川における河道掘削、堤防整備、堤防強化、耐震対策、ダムの事前放流の推進、ダム・遊水地の整備等を実施する。

府省庁名: 国土交通省

【事例】大和川 流域治水整備事業など

- 実施主体: 国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所、大和川流域自治体(奈良県域)
- 実施場所: 奈良県 大和川流域(奈良市・北葛城郡王寺町・生駒郡三郷町・磯城郡田原本町など)
- 事業概要: 大和川(奈良県域)は、奈良盆地の低平地を流れており、狭窄部から放射状に広がる156本の支川が本川に集中するなど、大雨による河川氾濫の発生リスクが高かったため、河道掘削、遊水地・雨水貯留施設整備等の流域治水対策を実施した。
- 事業費: 419億円  
 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)85億円)  
 ※直轄および奈良県内の河川事業(奈良県聞き取り)

■ 効果: 令和5年6月梅雨前線による大雨では、大和川流域で平成29年10月出水と同規模の雨量を記録したが、河道掘削や遊水地・雨水貯留施設の整備など、流域全体での治水対策により、**浸水戸数が大きく減少した。**



河川整備の状況

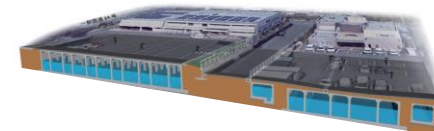


※数字は掘削量を表す

貯留施設の状況



田原本町社会福祉協議会駐車場  
 雨水貯留施設(町)



右: 流入状況  
 下: 貯留状況



貯留状況